

グリーンライフ・サポートクラブ セミナー

杉山城問題と杉山城の魅力



2019年10月5日

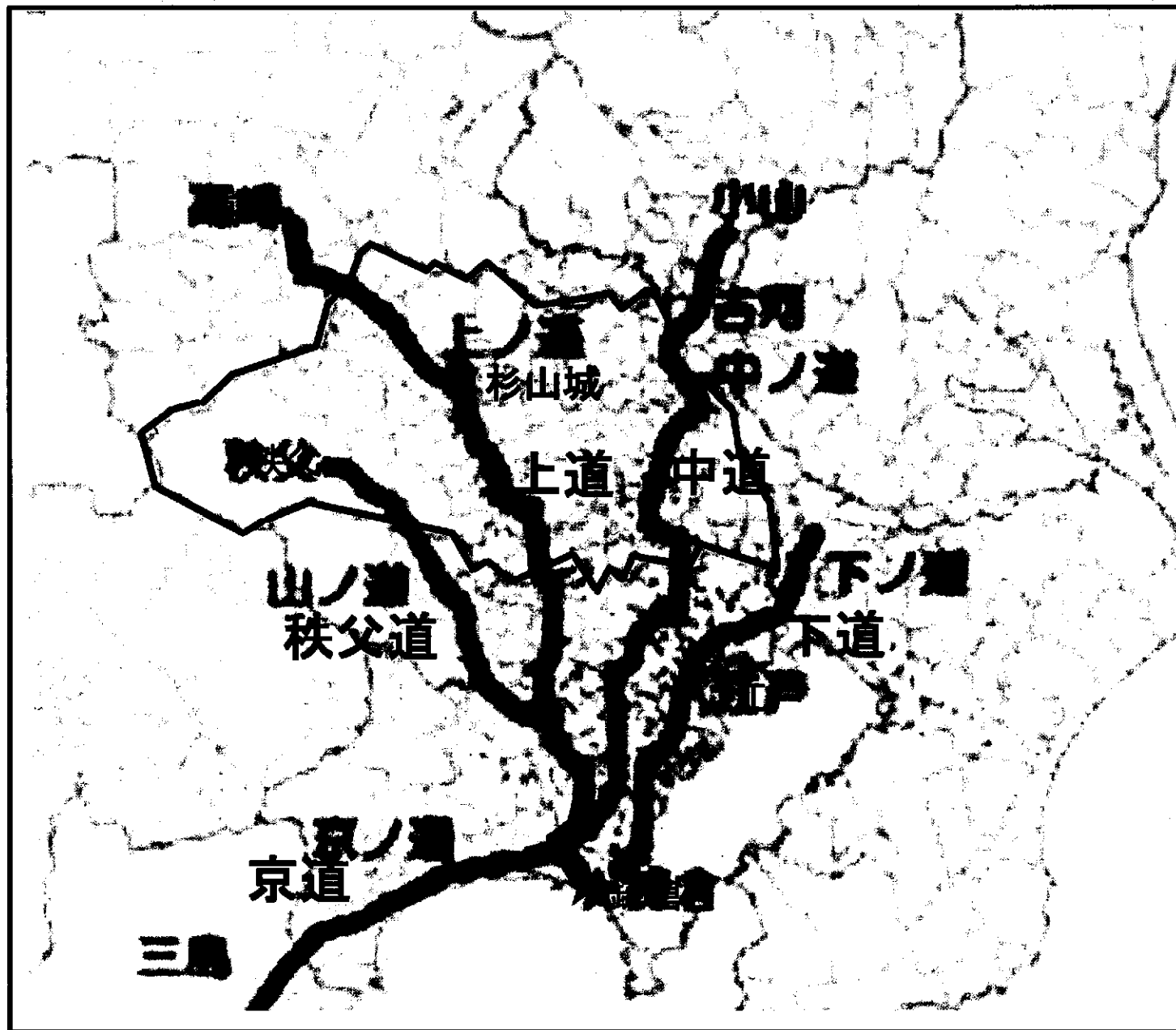
嵐山町ふれあい交流センター所長

植木 弘

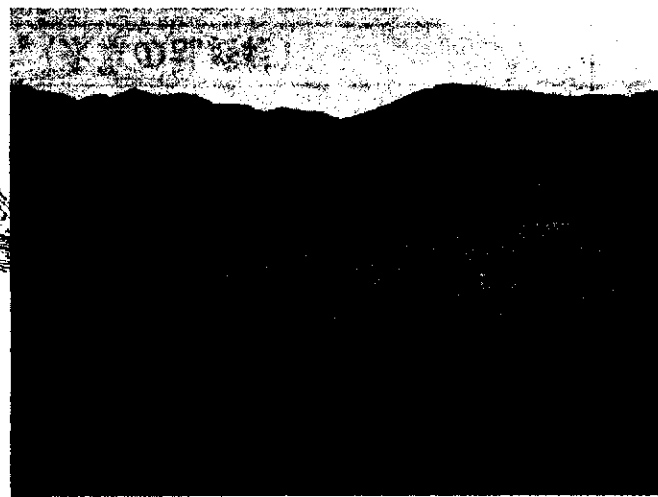
目 次

1. 鎌倉街道上道と戦国の道
2. 関東管領上杉氏と大田道灌
長尾景春の乱
大田道灌の暗殺
3. 長享の乱と比企城館跡群
山内上杉氏と扇谷上杉氏
須賀谷原の戦いと須賀谷城築城
4. 後北条氏の武蔵進出
5. 杉山城跡の国指定と杉山城問題
国指定の経緯
杉山城問題
6. 杉山城の魅力
杉山城の特色
小口の横矢掛かり

鎌倉街道のルート



嵐山町内を通る鎌倉街道



長享の乱以前の戦国史年表

西暦	和暦	月	出来事
1438	永享10	8	鎌倉公方足利持氏と関東管領上杉憲実の不和により幕府が持氏を攻める。(永享の乱)
1439	永享11	2	鎌倉公方足利持氏、上杉憲実に攻められ自害。(永享の乱終結)
1441	嘉吉1	4	結城合戦終結。
1454	享徳3	12	鎌倉公方足利成氏、関東管領上杉憲忠を謀殺。(享徳の乱)
1455	享徳4		足利成氏、鎌倉を出て古河に拠り、古河公方を称する。上杉憲忠の弟房顕、関東管領に就任。古河公方と対立。
1457	長禄1		上杉持朝が川越城、太田道真・道灌親子が岩槻・江戸城を築城。
1466	文正1		房顕、病没。顕定が関東管領に就任。
1476	文明8	7	長尾景春の乱が起こる。
1478	文明10		道灌、鉢形城の景春を攻める。
1480	文明12		道灌、秩父日野城を攻略。(長尾景春の乱終結)
1482	文明14		幕府と古河公方成氏が和睦。(享徳の乱終結)
1486	文明18	7	太田道灌が暗殺される。山内・扇谷両上杉の不和。
1488	長享2	6	須賀谷原、高見原で両上杉が戦う。(長享の乱勃発)。僧松陰、須賀谷旧城再興を進言。(『松陰私語』)

長享の乱前後の戦国史年表

資料4

西暦	和暦	出来事
1476	文明8	長尾景春の乱が起こる。道灌、鉢形城の景春を攻める。
1486	文明18	太田道灌が暗殺される。山内・扇谷両上杉の不和。
1488	長享2	須賀谷原 、高見原で両上杉が戦う。(長享の乱勃発)。 僧松陰、 須賀谷旧城再興 を進言。(『松陰私語』) 資康の 平沢寺の陣営 を訪れた万里集九の送別の詩歌会催される。
1494	明応3	扇谷定正、荒川畔で対戦中に急死。
1505	永正2	山内方の勝利、扇谷朝良は引退。 管領顕定、 須賀谷に移陣 。(長享の乱終結)
1509	永正6	顕定、養子憲房とともに越後へ出陣。連歌師柴屋軒宗長、 須賀谷の小泉掃部助の陣所 を訪れる。(『東路のつと』)
1510	永正7	顕定、越後出陣。長森原で長尾為景に敗れ自刃。 顕定の跡目を憲房と顕実が争う。
1512	永正9	憲房、鉢形城の顕実を攻略。
1515	永正12	憲房、関東管領に就任。
1521	大永1	両上杉、再び不和。鉢形城の憲房、扇谷朝興の川越城を攻略。
1524	大永4	羽尾峯で両上杉が和睦。

平沢陣

須賀谷陣

梶山陣

『梅花無尽蔵』

万里集九

(前略)

十七日、須賀谷の北の平沢山に入り、太田源六資康の軍營を明王堂畔に問う。二、三十騎突出して余を迎う。余もまた深泥の中に鞍を解き、おのおのその面を押し、資康のつつがなきを賀す。余すでにしばらく寓すと云う。

(中略)

六月十八日、須賀谷に両上杉の戦いあり。死者は七百余員。馬もまた数百疋。

(中略)

九月二十五、太田源六、平澤寺の鎮守白山の廟において、詩歌の会あり。敵壘と相對し、風雅を講ず。ああ、西俗にこの様なし。

「社頭の月」

一戦乗勝勢尚加

白山古廟澤南涯

皆知次第有神助

九月如春月白花

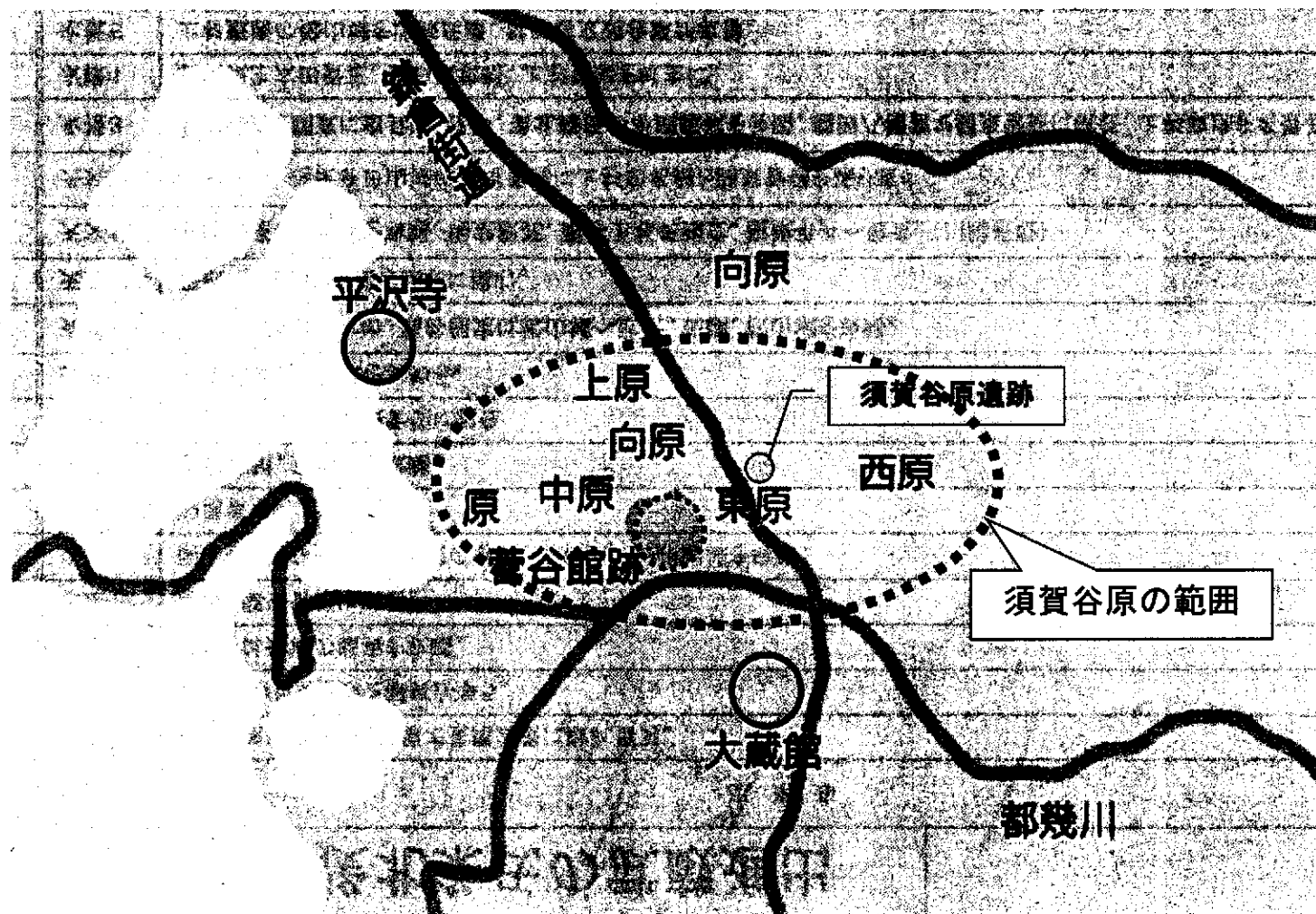
一戦勝に乘じ、勢いなお加わる。

白山の古廟は澤の南涯にあり。

皆知る次第に神助あらんことを。

九月は春のごとく月はおのずから花のごとし。

須賀谷原合戦の位置と関連遺跡・地名



後北条氏の武蔵進出

西暦	和暦	出来事
1510	永正7	顕定、越後出陣。長森原で長尾為景に敗れ自刃。 顕定の跡目を憲房と顕実が争う。
1512	永正9	憲房、鉢形城の顕実を攻略。
1515	永正12	憲房、関東管領に就任。
1521	大永1	両上杉、再び不和。鉢形城の憲房、扇谷朝興の川越城を攻略。
1524	大永4	羽尾峯で両上杉が和睦。
1524	大永4	北條氏綱、江戸城を攻略。
1530	享禄4	山内上杉憲政、関東管領に就任。
1534	天文4	北條氏綱、川越城を攻める。
1537	天文6	氏綱、川越城を攻め、扇谷朝定は松山城へ敗走。氏綱、松山城を攻略。
1545	天文14	憲政・朝定、川越城奪回戦に挑む。
1546	天文15	北條氏康、川越城を攻略、朝定敗死、扇谷上杉氏滅亡。憲政平井へ敗走。(川越夜戦)
1552	天文21	上杉憲政、越後春日山城の長尾景虎に上杉の名跡と関東管領を譲り渡す。
1560	永禄3	長尾景虎、関東に出兵し、翌年、後北條氏の小田原城を包囲。鶴岡八幡宮で関東管領に就任、上杉政虎を名乗る。
1561	永禄4	岩槻城主太田資正、松山城攻略。上杉憲勝を城主に。
1562	永禄5	上杉憲勝の松山城を北條氏康、武田信玄連合軍が攻撃。
1563	永禄6	上杉憲勝、松山城を降伏開城。
1569	永禄12	武田信玄、北條氏邦の鉢形城を攻撃。
1590	天正18	豊臣秀吉、小田原征伐。後北條氏の八王子城、岩槻城、松山城、鉢形城など開城または落城。徳川家康の関東移封。

【杉山城問題関連史料】

(小浜市立図書館所蔵酒井家文庫のうち
吉田吉令筆記所収「家譜覚書」)

〔足利高基書状写〕

相山之陣以来、相守憲房走廻之条、神妙
之至候、謹言、

足利高基ノ由

九月五日

花押

毛呂土佐守殿

杉山城問題とは

二つの矛盾する見解、年代観の食い違い

縄張り研究による年代観 = 戦国後期、後北条氏の築城

戦国前期の相模、武蔵の多くの城郭縄張りに比較して杉山城は複雑で、小口の形態が後北条氏の滝山城に似ている。

従来の年代観は伊禮正雄氏の見解による

北条氏康の平井進攻[天文20(1551)]から北条・武田連合軍の松山城攻め[永禄6(1563)]頃の間で、北条氏邦が鉢形城主になり前線が松山から鉢形へ移るまでの城。地形に応じた縄張りからみて、古城を改修したのではなく、一挙に築城したもの。騎馬の行動が窮屈なので、攻勢よりも守備を重視した城。弓矢の有効距離を重視した構造(鉄砲普及以前)。

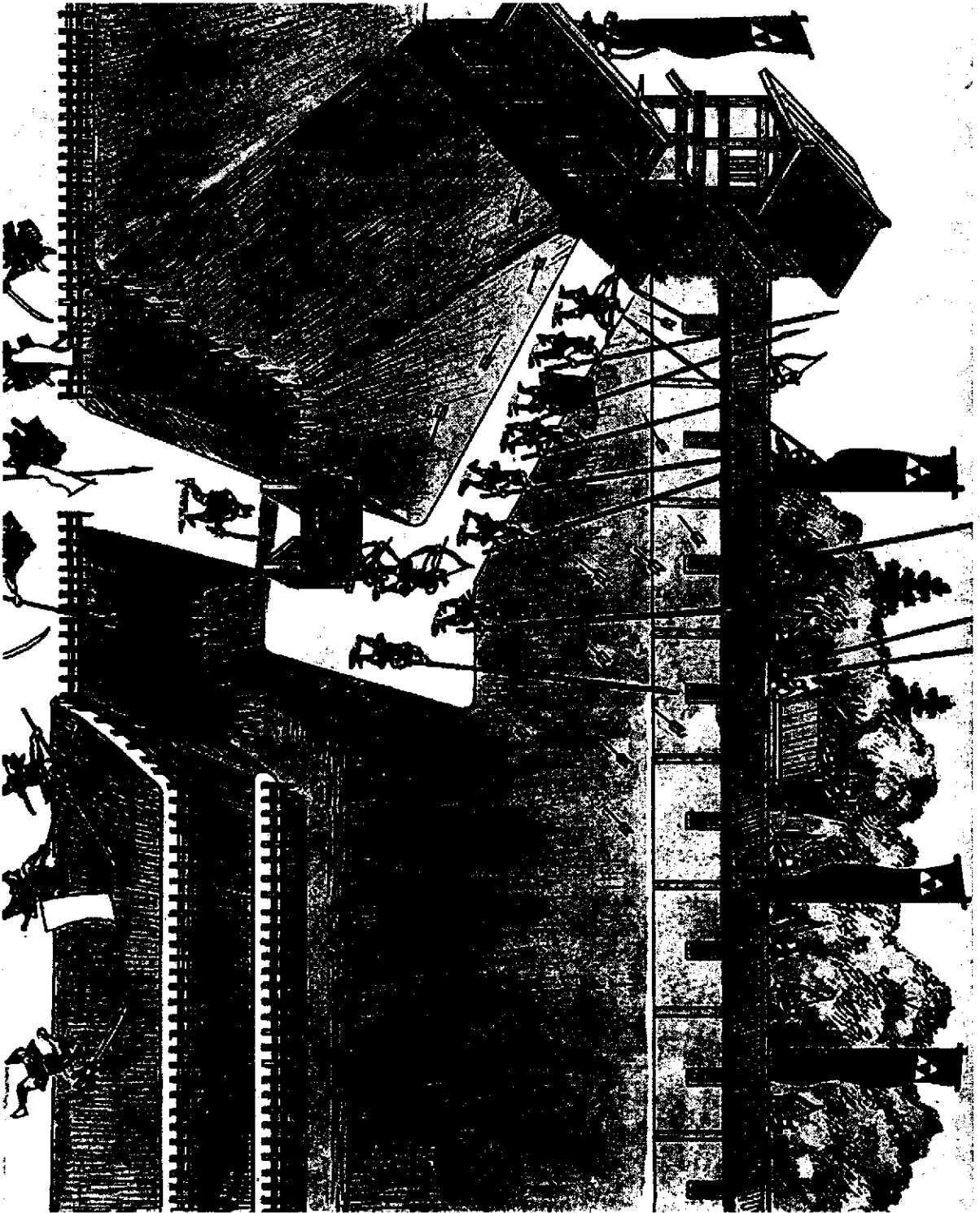
考古学の成果 = 戦国前半、山内上杉氏の築城

発掘調査の出土遺物は、15世紀末～16世紀前半初頭の期間に集中し、それ以後のものは今のところ出土していない。山内上杉系のカワラケの出土。生活面が一面しか確認されていない。

史料の発見とその解釈 = 戦国前半、山内上杉氏の築城

「相山之陣」とある古文書の発見、山内上杉家の跡目争いと扇谷上杉家との抗争のあった16世紀の前半初頭ころ。

大手口再現想定図



杉山城小口の横矢掛かり

← 攻め手

← 横矢

資料11

